

横浜鶴ヶ峰病院認定再生医療等委員会議事録

開催日時：2022年 7月1日（金）17時～18時

開催場所：横浜鶴ヶ峰病院附属予防医療クリニック会議室

出席者：委員8名中8名（男性4名、女性4名）。

- （a-1：委員長・技術専門員・笹倉裕一）（a-1：櫛田和義、矢野間俊介）
- （a-2：市原由美江）（b：堀 晶子）（c：古屋由美子、細谷真美、岡本直幸）
- ・委員会事務局・書記：塩澤幸江
- ・委員会が必要と認めた者：（メディアートクリニック院長：前山和宏）
- ・会議の成立・不成立： 成立（利益相反等々、会議開催に問題無し）

【議 題】

定期報告書の審査：

①横浜鶴ヶ峰病院附属予防医療クリニック

「免疫機能改善を目的とする免疫細胞療法」、1年経過、定期報告書審査

新規提供計画書の審査：

②横浜鶴ヶ峰病院附属予防医療クリニック

「自家多血小板血漿（PRP）投与によるスポーツ外傷を含む筋肉、腱、靭帯、損傷及び慢性炎症の治療（関節外の軟部組織）」

③医療法人社団鳳龍会メディアートクリニック

「活性化自己リンパ球を用いた免疫機能向上を目的とする免疫細胞療法」

【審 議 概 要 及 び 結 果】

①「免疫機能改善を目的とする免疫細胞療法」、1年経過、定期報告書審査

・実施責任医師である櫛田和義氏から2021年4月12日～2022年4月11日間の再生医療等提供状況経過説明。

- ・症例数は7名、投与回数は15件であった。
- ・副作用は無い。治療効果については、不明。

議論内容

- ・疾病等及び副作用の報告はない。
- ・受けた者数人にコロナウイルス感染予防に有益であった旨の報告あった。
- ・症例数が少なく、更なる科学的妥当性の集積の必要性を求める意見があった。

審議結果

- ・再生医療等提供状況報告書及び提供計画継続を、委員長及び委員全員一致で承認。

②「自家多血小板血漿（PRP）投与によるスポーツ外傷を含む筋肉、腱、靭帯、損傷及び慢性炎症の治療（関節外の軟部組織）」

- ・実施医師である櫛田和義氏から新規再生医療等提供書の説明。

議論内容

- ・既に第二種提供計画「変形性膝関節症に対する PRP 治療」で委員会承認及び厚生局にて受理を受けている。2年間の提供期間中の副作用の報告はない。
- ・科学的妥当性の集積の必要性を求める意見あり。

審議結果

- ・再生医療等提供計画書、委員長及び委員全員一致で承認。

③「活性化自己リンパ球を用いた免疫機能向上を目的とする免疫細胞療法」

- ・実施責任医師である前山和宏院長から新規再生医療等提供書の説明。

議論内容

- ・横浜鶴ヶ峰病院附属予防医療クリニック及び他施設で多く行われている再生医療等提供計画である。
- ・安全性に問題は無いと考えられる。
- ・積極的に科学的妥当性の集積の必要性を求める意見あり。

審議結果

- ・再生医療等提供計画書、委員長及び委員全員一致で承認。